

\*\*\*\*\*

### ISET-R A02-3 班(海洋班)若手育成研修プログラム

#### 「海水中の放射性セシウム分析および海洋地球研究船「みらい」・最先端海洋観測機器・むつ科学技術館見学」

(1)日時:2015年10月29日(木)~10月30日(金)

(2)場所:国立研究開発法人海洋研究開発機構 むつ研究所

〒035-0022 青森県むつ市大字関根字北関根 690 番地 TEL:0175-25-3811(代表)

(3)担当

熊本 雄一郎(海洋研究開発機構)

本多 牧生(海洋研究開発機構)

山田 正俊(弘前大学)

(4)研修内容

海水中放射性セシウム分析のためのリンモリブデン酸アンモニウム(AMP)による前処理、測定用試料の調整およびガンマ測定とデータ解析法。

世界最大級の海洋地球研究船「みらい」と海洋研究開発機構むつ研究所施設見学および「むつ科学技術館」見学。

海洋における放射性物質の動態に関する講義。

(5)参加申込み締切:10月8日(木)

募集定員:9名

実験装置やスペースの関係上、先着順で、募集定員に達したら締め切ります。なお、すでに参加希望をいただいた方は、再度の申込みは不要です。

宿泊は、むつ市内のホテルを予定しています。

詳細については、直接、参加申込者に連絡いたします。

(6)スケジュール(実質、10/29-10/31の2泊3日)

・10月29日(木)第1日(15:00~ )

オリエンテーション(研修の目的、試料処理・測定の概略)

実習1(AMP 沈殿作成)

懇談会

・10月30日(金)第2日(9:00~17:00)

実習2(AMP 沈殿ろ過)

海洋地球研究船「みらい」および JAMSTEC むつ研究所 見学

むつ科学技術館見学(原子力船「むつ」の原子炉室が世界で初めて公開されています)

講義(熊本, 本多, 山田) 海洋における放射性物質の動態

実習3(AMP 沈殿回収・測定)

\*\*\*\*\*